

「ものづくり現場のデジタル化促進講座（経営者・現場管理者向け） ～デジタル化の初歩からトライまで～」募集案内

一般社団法人大分県工業連合会

1 目的・概要

ものづくり現場にデジタル技術を導入し、効果的に活用するためには、経営者や現場管理者が自社で取り組むべき課題と、これに見合ったデジタル化のイメージを持ち、実践することが求められます。

本講座は、県内ものづくり中小企業において、「デジタル化の必要性を感じているが、デジタル技術の導入方法や具体的なイメージがわからない」「これから社内のデジタル化に取り組みたい」「さらに推進していきたい」という企業の経営者・管理部門等のデジタル化を推進する方を主な対象として実施します。デジタル化の必要性を実感してもらい、県内ものづくり中小企業へのデジタル技術の導入を促進することを目的としています。

ものづくり現場におけるデジタル化に詳しい講師を迎え、現場の工程ごとに、デジタル技術の紹介やその具体的な活用手法を、「初歩からトライまで」実践的に学ぶことができる講座です。

2 主催

一般社団法人大分県工業連合会

3 協力企業（50音順、敬称略）

アスプローバ株式会社、株式会社亀山電機、シーメンス株式会社、
Beach Head, Inc.、ミシマ・オーエー・システム株式会社、株式会社MENOU

4 募集対象

県内ものづくり中小企業のうち、今後社内のデジタル化に取り組む企業や、さらなるステップアップを図ろうとする企業における、デジタル化推進の担当者（経営者や現場管理者等）

5 定員

15名程度（1社につき2名まで）

6 研修日程・研修会場

	日程		会場
第1回	9月20日(金)	13:00~17:00	コンパルホール 304 会議室 (大分市府内町1丁目5-38)
第2回	10月4日(金)	13:00~17:00	ホルトホール大分 403 会議室 (大分市金池南1丁目5-1)
第3回	10月18日(金)	13:00~17:00	ホルトホール大分 403 会議室 (大分市金池南1丁目5-1)
第4回	11月15日(金)	13:00~17:00	ホルトホール大分 404 会議室 (大分市金池南1丁目5-1)

7 カリキュラム

別紙のとおり

8 参加費

無料

9 申込方法 ※申込期限：令和6年8月30日(金)

下記 URL または二次元バーコードからお申込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/apply-procedure-alias/R6sokushin>



10 受講者の決定通知

令和6年9月上旬頃通知予定

11 その他

- ・実習のため、パソコンのご持参が必要となる場合があります。
- ・定員を上回る申込があった場合は、期限前に締め切り、
1社当たりの受講人数を調整させていただくことがあります。
- ・本事業は、大分県からの受託事業です。

12 申込先・問合せ先(事務局)

一般社団法人大分県工業連合会 担当：黒木、加藤、高橋

TEL：097-506-3267

e-mail：info@oitakenkoren.or.jp

※各講義の内容や開催場所等は今後変更が生じる可能性があります。

	日時	内 容	講師・協力企業
第1回	9/20 (金)	<p>「製造計画編」 製造計画管理業務、スケジューラの活用について</p> <p>ものづくりにおいて、実際の現場で起こり得る事例をケーススタディ形式で取り上げ、グループディスカッションを通じて問題点を整理します。</p> <p>スケジューリングの情報システムへの活用による、ものづくりの変化を体験し、その重要性・必要性を学びます。</p>	<p>佐世保工業高等専門学校 教授 柳生 義人 氏 北九州工業高等専門学校 教授 久池井 茂 氏 技術専門職員 宮元 章 氏 アスプローバ株式会社</p>
第2回	10/4 (金)	<p>「受発注と生産収益管理編」 管理受注業務について</p> <p>リモート環境が重視される現状においても、効率を保って収益を維持する企業の受注生産活動業務に焦点を当て、具体的な手法を紹介します。</p> <p>MRP¹を使用して、電子的な方法による受発注情報の共有、在庫推移表を活用した効率的な材料発注から、生産計画・指示・結果入力までの一貫したプロセスを学びます。</p>	<p>大分工業高等専門学校 教授 尾形 公一郎 氏 北九州工業高等専門学校 教授 久池井 茂 氏 Beach Head, Inc. ミシマ・オーエー・システム株式会社</p>
第3回	10/18 (金)	<p>「製造進捗管理編」 製造実行システムについて</p> <p>受注管理業務の効率化を図るためには、工程別の製造指図作成及び実績把握をきめ細かく行うことが重要です。本講座では、品質管理プロセスにおけるシステムエンジニアリングと、それを基盤としたフロントローディング²を学びます。さらに、第4次産業革命関連ツールにおいて、実績把握に極めて有効なMES³について学びます。</p>	<p>鹿児島工業高等専門学校 教授 島名 賢児 氏 熊本高等専門学校 教授 田中 禎一 氏 北九州工業高等専門学校 教授 久池井 茂 氏 シーメンス株式会社 株式会社亀山電機</p>
第4回	11/15 (金)	<p>「品質管理編」 外観検査業務の自動化、AIの活用について</p> <p>検査員の目視に多くを依存している外観検査業務を、AIで自動化することにより、人手不足と品質管理の課題を解決する動きが注目を集めています。</p> <p>現在は、ノーコード（プログラミング不要）のAIツールを用いて、現場が自ら低コストで自動化の検証・開発を行う手法がトレンドになっています。本講座では、AI外観検査システムの概要と、ツールを用いた画像検査AI開発について、実践的な演習形式で学びます。</p>	<p>大分工業高等専門学校 准教授 稲垣 歩 氏 北九州工業高等専門学校 教授 久池井 茂 氏 株式会社MENOU</p>

¹ MRP：「生産活動に必要とする資源（リソース）の計画を立て、それに基づいた仕入れ・生産を行う管理手法」だが、最近ではその役割に加えて生産の工程管理や品質管理、販売管理や出荷管理、関連する会計処理など幅広い業務をカバーするためのシステムとして導入・運用されている。

² フロントローディング：設計初期の段階に負荷をかけて、前倒しが可能な工程を初期段階で行うこと。

³ MES：製造実行システム。製造工程の把握や管理、作業員への指示や支援などを行う。